

フリーランスの@がSUN SUN

川崎美紀の  
SMILE通信

きょうも  
おもてなし  
日和



Vol.18 今年の歩み、来年へのステップ

つい先ごろ、東京湾にかかるゲートブリッジまでマラニック（マラソン+ピクニックの造語：五感を解放して自然や街の景観や文化を味わい、語らいながら走るランニングスタイル）に行きました。

あいにく、曇りから小雨の天気ですが橋からの眺めはほんやりで残念でしたが、その代わりに道中の草木や葉の色づき、小鳥の美しさ、風の冷たさ、海の波の激しさなど普段の生活では気がつかなかったことが目に止まりました。

東京ゲートブリッジは「恐竜橋」とも呼ばれ、2頭の恐竜が向かい合っているように見える橋です。都心から結構近いところにありますが、行き方は少し不便で、わざわざ行くところでもないのですが、一度

**早**いもので、もう師走です。この1年を振り返ってみる時期です。

皆さんはどんな1年をお過ごしでしたか？ 私は、ありがたいことに多くの仕事をいただくことができました。一方、趣味のランニングでは初めてランニングクラブに入会し、仲間とともに練習する機会を得ました。仕事と私事、ともに充実した1年でした。

数年前から、年初にその年の目標とする漢字1字を決めて書き記し、ときどき見返しては自省するにしました。今年は「歩」、一歩一歩しっかり進もうと思って「歩」を選

び、意識しながら過ごしてまいりました。

は走ってみたいと思っていた場所です。車専用の道路の脇に、歩行者用の歩道があります。歩道は若洲（わかす）側からしか出入りができないので、行ったら戻ってきて往復3キロちょっとです。

若洲にはゴルフ場があり、その周囲を通りました。風力発電用の大きな風車もあって、真下から見上げるとかなりの迫力です。この日は勢いよく、グルグル回っていました。

東京ヘリポートではヘリコプターが頻りに離着陸の様子を見て、東京メトロの車両基地では、地下鉄と乗り入れている私鉄の車両がずらりと並んでいる様子を見ました。

体力維持のために思っている部

ランニングでみつけた  
身近な景色を見る楽しみ

地震や豪雨、相次ぐ台風と気象に右往左往することが多かった2018年です。

早い梅雨明けから長く暑い夏、その後、急激に秋がやってきました。東京でも思った以上に塩害が広がっていて、立ち枯れの木々が多く、紅葉はあまり期待できません。

ランニングをしていると、天気や季節の変化を肌で感じるができます。

分もありますが、こんなふうにな身近な景色もちょっと気分を変えて見ることができるのも、走る楽しみの一つです。

来年も、楽しく、目標を持って走っていこうと思います。

正しく理解し、取り組みたい！  
ハラスメント問題

来年、新たに組み組もうと思っていてものが、ハラスメントです。前号に続き、ハラスメントについて少し書きます。

この秋、パワハラ防止へ向けて、法整備の動きがありました。いまままでなかったのがかえって不思議でした。ハラスメントが横行する職場では、健全なメンタルヘルスは望めません。



イラスト★ささきさとみ (http://blog.goo.ne.jp/satomi343)

ようやく法律が追いつこうとしているということでしょうか。まずは振りどころとなるものを作って、正しい理解を広めていくべき。その第一歩ですから歓迎です。

正しい理解といえば、「強制するとパワハラになる」「相手がパワハラと思えばパワハラになる」の2点は、じつは間違った解釈です。

ええー！ そうなの！ と思ったあなたは、まさにいま、正しい理解の入り口にいます。

基本的に業務命令は強制です。これをパワハラとしては、仕事が立ち行かなくなります。また、「相手がパワハラと思えば……」はセクハラとの混同です。

セクハラには「対価型」と「環境型」があります。

「対価型」は、性的な内容の発言や行動に対して、受けた人が拒否や抵抗した場合に、解雇・降格・減給・

昇格対象からの除外・契約更新の拒否・配置転換などの不利益を受けることです。

「環境型」は、性的な内容の発言や行動により、その職場の従業員の働く環境が不快なものとなり、能力の発揮に重大な悪影響が生じるなど看過できない程度の支障が出ることです。

「対価型」はわかりやすいですね。「環境型」には、あからさまなセクハラと無自覚なセクハラがあります。無自覚なセクハラが、いわゆるグレーゾーンと言われる、判断に迷うものが多いところです。

無自覚ですから、その当事者にはセクハラなんて意図も認識もない。けれども、相手がセクハラだと思えばセクハラにあたる。多くの人が「なんとかしてほしい」と思っているから、という根拠はここにありません。

いくつか例を挙げると、女性従業員を「ちゃん付け」で呼ぶことで親愛の情を伝えようとしていた、女性従業員にボディタッチをしていた人はあふれんばかりの親愛の情を伝えるために、肩を揉（も）んだり、腕や背中をポンと軽く叩いたりしていた、など。

さらに下ネタを言っていた人は、小学生のころから下ネタを言ってクラスの人気者になっていたので、社会人になってからもそうすることで職場の雰囲気や和ませようとしていた、などです。

\* \* \*

本年も大変お世話になりました。どうぞ、素敵な新年をお迎えください。

来年は平成最後の年、そして新たな元号での元年です。天災のない年であってほしいと願います。



川崎 美紀 (かわさき・みき) オフィスリバー研修講師 <http://www.officeriver.biz>  
国際線キャビンアテンダントとして10年乗務、2005年JALアカデミーのインストラクターとなる。同時に個人事務所・オフィスリバーを立ち上げ、2012年独立。2015年日本キャリア開発協会認定キャリアディベロップメントアドバイザー(CDA)の資格を取得。主に企業を対象に、ニーズに応じた研修を提案し提供。近年はビルメンテナンス・警備・ホテル・金融機関など各業界での研修実績を持つ。ビルクリーニングカレッジでは「おもてなしマナー」トレーナー講習を担当。